

一般質問



金井田
議員

○2021地域版未来会議について

質 上志佐地区、令和3年7月9日開催の上志佐小学校を地域のコミュニティの場として、地域を活性化するという内容について、どんな提案があったのか。また、その提案について現在担当課として、どのような動きをされているのか。

政策企画課長 学校を地域の憩いの場にする『そうだ！学校へ行こう』

「この指とまれプロジェクト」(仮称)『や、料理体験とやまめの郷のコラボによる交流人口の拡大、空き家を活用した定住移住の促進、地域住民を増やすなどの意見に加え、地域のお助け隊を育成する、地域でコミュニティバスを走らせるなどの意見をいただきました。担当課としては、未来会議で出された意見がきっかけとなり実現されている地域住民、PTA、学校などが協働して行われる学校周辺の草刈り作業などに、市としても一緒に参画しました。また、家庭科のお手伝いを地域の方々が行ったたり、コロナ禍で実現はできていませんが、地域の方々と子どもたちが一緒に給食を食べるなど、未来会議で出された意見が学校を核として自主的な活動が具現化さ

れてきている状況です。加えて、現在、モデル地域として進めているまちづくり運営協議会が設立された後に、地域に入って立ち上げの支援を行う予定です。

○令和4年度松浦市子ども議会について

質 青島中学校から質問があった、青島の存続と活性について。松浦市の情報をこまめに発信するために専門の担当者を雇い、リアルタイムで情報の発信を。職員一人一人がスキルを高め、情報発信に努める。としているが、その後の取り組みについて尋ねる。

地域経済活性化課長 「アジフライの聖地 松浦」の認知度を向上させることを目的として、「アジフライの聖地 松浦」連携店にインスタグラムを活用した情報発信をしていたために、「アジフライの聖地 松浦」Instagram発信戦略マニュアルを作成しています。市内飲食店、市内観光事業者に配布して、今後のSNSでの発信強化のため活用していただくこととしています。

担当課としても、このマニュアルを活用して担当職員の情報発信のスキル向上を図り、今後の観光情報発信業務に生かしていきたいと考えています。なお、2月には市職員を対象に、ニーズに合った効果的なSNSの運用について理解を深めるための研修を実施したところです。

一般質問



神田
議員

○市内小・中学校における不登校の現状と対策について

質 松浦市における不登校の要因について、お尋ねしたい。

学校教育課長 小学校では生活リズムの乱れと親子の関わり方の問題が非常に多く、中学校では友人関係、学業の不振、無気力、生活リズムの乱れが多く挙げられています。

質 児童生徒を不登校にさせないため、学校教育課で行っている未然防止策をお知らせください。

学校教育課長 令和4年度から小学校3年生と中学校1年生の児童生徒全員を対象としたスクールカウンセラーなどによる個人面談の実施を始めました。また、つなぎのサポート会議の充実を実施し、入学した学校において、家庭を含めた児童生徒理解を深める機会を設ける取り組みを行っています。

質 不登校に対する総合的な対策が必要と考えられるが、教育長の見解をお伺いしたい。

教育長 未然防止対策を含め、魅力ある、楽しいと感じる学校づくり、教職員の資質向上、家庭における取り組み、関係機関との連携といった現在行っている対策のさらなる充実

を図り、今後も関係機関と連携しながら、不登校対策を組織的に推進していきたいと考えています。

○脱炭素社会に向けての松浦火力発電所に対する市の対応について

質 両火力発電所が地元の関連企業や商店等にもたらす経済効果をどのように思われているのかお尋ねしたい。

地域経済活性化課長 雇用の創出や地元企業への業務発注、定期点検時の宿泊、それに関連する地元飲食店等の消費活動など直接的な効果はもちろん、原材料の取引や地元食材の調達など間接的な経済波及効果も含め、地域経済に対して大きな効果をもたらしていると考えています。

質 両火力発電所の固定資産税と松浦市の固定資産税に占める割合についてお尋ねしたい。

税務課長 固定資産税は、令和元年度約12億7千万円、2年度約32億8千万円、3年度約28億2千万円です。令和3年度決算において松浦市の固定資産税全体に占める両電力の割合は75%となっています。

質 第6次エネルギー基本計画が示されたが、国に対して松浦市の実情を訴えて行動を起こす必要があると思うが市長の見解をお伺いしたい。

市長 引き続き松浦火力発電所勉強会等において確認された事項などについて積極的に国に対し要望活動を行っていききたいと考えています。